

よしかわ

No.155

議会だより

平成24年9月定例会



建設進む、来年4月開校です！
～美南小学校～

主な内容	補正予算など24議案を可決	・・・	2～3
	平成23年度一般会計決算の概要	・・・	4～5
	常任委員会の審査から	・・・	6～7
	答えて市長！一般質問	・・・	8～11
	審議結果・編集後記	・・・	12



namarin
yoshikawa city
©2010吉川市

平成24年 9月定例会

平成23年度決算を認定、 平成24年度9月補正予算などを可決

今定例会は、8月31日から9月21日までの会期で開催され、市長提出議案19件、議員提出議案6件が上程されました。

市長提出議案

一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ12億7千299万9千円を追加し、予算の総額をそれぞれ208億7千713万3千円とするものです。

【歳出の主な事業】

●医療費支給事業
(子ども医療給付費の増加等による) 6千332万円

●予防接種事業

(ポリオ予防接種のワクチン切り替え等による) 4千639万8千円

●駐輪場等管理事業

(吉川美南駅西口の自転車駐車場の整備等による) 822万4千円

●公園維持管理事業

(美南中央公園の除染工事に伴い、削った芝の復旧等による) 1千249万9千円

●庁舎建設基金積立事業

1億5千万円

各特別会計補正予算

【国民健康保険】

4億557万4千円追加

【下水道事業】

8千779万3千円追加

【農業集落排水事業】

40万4千円追加

【介護保険】

4千369万3千円追加

【後期高齢者医療】

345万2千円追加

税条例及び国民健康保険税条例の一部を改正

平成23年度及び平成24年度の税制改正や東日本大震災復興に関し、各種法律が公布されたことにより、条例の一部を改正するものです。

【主な改正】

●個人の市民税の均等割税率引き上げ。(平成26年度より35年度) 3千円→3千500円

●退職所得に係る個人住民税の10%税額控除の廃止。

●居住用に供していた家屋が東日本大震災により滅失した場合、譲渡所得の課税の特例が適用となる期間を震災の日から7年とする。

市道の路線認定及び廃止

宅地開発に伴う市道の路線認定及び市道払い下げに伴う路線廃止を行うものです。

【路線認定】

美南五丁目27番11地先

27番82地先 他9路線

【路線廃止】

大字平沼字川端1961番1地先

1961番5地先



建設生活常任委員会による市道の現地視察

職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正

職員の特別休暇のうち、いわゆるドナー休暇について、骨髄を提供する場合だけでなく、末梢血幹細胞を提供する場合にも取得できるよう改正するものです。

教育委員会委員の任命

任期満了となる五十嵐修氏の後任に、西山祐照氏を任命するものです。

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了となる戸井田均氏を再度選任するものです。

議員提出議案(意見書)

6件を上程し、次の5件を可決、内閣総理大臣等へ提出しました。(一部抜粋)

大飯原子力発電所3、4号機の再稼働中止を求める意見書

大飯原発3、4号機は敷地内の破砕帯に活断層の恐れがあることが指摘され、防潮堤のかさ上げ等の重要な安全対策の実施も3年後とされている。いったん事故を起こせば取り返しのつかない重大な被害をもたらす原発に対し、撤退を求める国民の強い意志は明白に示されている。

政府は国民の安全第一の立場に立ち、大飯原子力発電所3、4号機の再稼働中止を決定することを求める。

吉川市内における県道の交差点改良と北部延伸を求める意見書

都市計画道路三郷吉川線(334号線)は、吉川美南地下道が開通し、三郷市内の道路も含め、国道298号までが直通となり利便性が大幅に向上した。しかしながら、県道川藤野田線までの区間が未整備で、交差点の形状も十分なことから、交差点改良と県道川藤野田線までの北部延伸について早期整備を強く要望する。

緊急事態基本法の早期制定を求める意見書

国家の独立と安全における危機や、国民の生命・財産が脅かされる重大で切迫した事態に対応するためには、緊急事態宣言を発動して政府と地方自治体が一体となり迅速かつ適切に対処する必要がある。よって、国におかれては、今後想定されるあらゆる事態に備え、国民の安心・安全を守るため、「緊急事態基本法」を早急に制定されるよう強く要望する。

「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化を求める意見書

薬物乱用の拡大を防ぐため以下について強く要望する。
①成分構造が類似していれば一括して薬事法の指定薬物として規制対象にできる「包括指定」を導入すること
②指定薬物を発見した場合に取去ができるなど法整備の強化を図ること
③薬物教育の徹底を含む未然防止策の強化を図ること

埼玉県立大学に医学部の新設を認めることを求める意見書

埼玉県は、国立大学医学部がない全国的にも希少な県であり、県の医師養成は他都道府県に依存していると言わざるを得ない。県では、今年度新たに定めた「5か年計画」において「埼玉県立大学医学部設置認可のための体制の確立と医学部設置に向けた計画の策定」を明記した。よって、国におかれては、埼玉県立大学に医学部設置を認めることを強く求める。

全員協議会が

開催されました

9月18日の本会議終了後、全員協議会が開催されました。

市では、現庁舎の問題点を整理し、庁舎建設等に係る基本的方向性について調査、検討するため、「吉川市庁舎建設等検討委員会(委員・学識経験者・各種団体代表・公募市民・議員等20名)」を設置し、2月から6回の検討委員会を開催しました。8月に検討委員会から市長に「庁舎建設等に関する報告書」が提出されたことから、今回の全員協議会が開催され、報告書の概要等について説明を受けました。

新庁舎への移転は平成28年度を目標とし、準備が進められます。



おあしす隣接地に購入済みの新庁舎用地

議員研修会に

参加しました

7月26日、埼玉県市議会議長会第4区議長会主催による議員研修会が八潮メセナで開催され、本市議会から16名の議員が参加しました。

【演題】

日本政治の行方

【講師】

NHK解説室 解説主幹 島田 敏男 氏



行政視察を

受け入れました

熊本県荒尾市議会

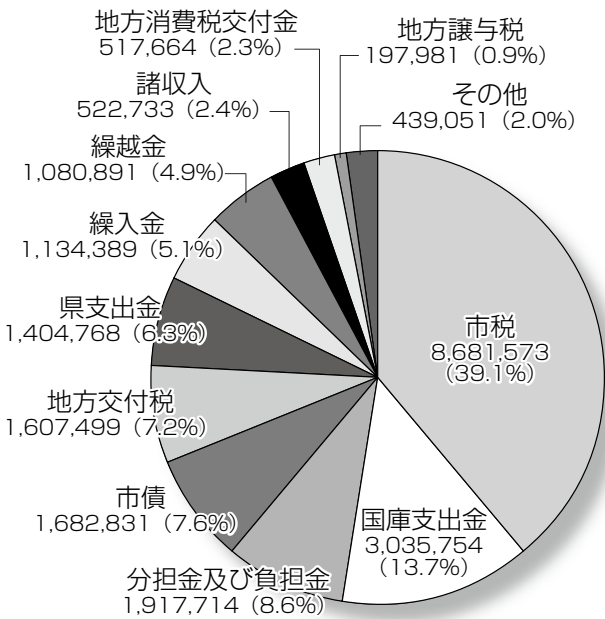
(7月20日)

当市の配偶者暴力相談支援センターの運営等について視察を受けました。

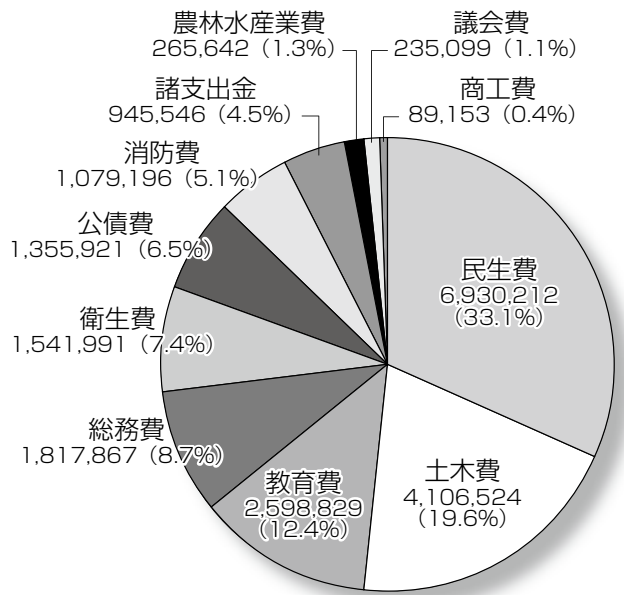
平成23年度一般会計歳入歳出決算

平成23年度一般会計決算における歳入は前年度比3.2%増、歳出は2.5%増となりました。特別会計決算、水道事業会計決算についても慎重に審議し、すべての決算を認定しました。

歳入：222億2千284万7千円



歳出：209億6千597万8千円



※単位：千円（ ）は構成比

項目	金額 (円)
【国民健康保険】	
歳入	77億8千150万円
歳出	69億9千866万円
【下水道事業】	
歳入	11億8千285万円
歳出	11億3千282万円
【農業集落排水事業】	
歳入	3千220万円
歳出	3千170万円
【介護保険】	
歳入	25億8千764万円
歳出	25億4千196万円
【後期高齢者医療】	
歳入	3億1千736万円
歳出	3億1千381万円
【水道事業会計】	
収益的収入および支出	
収入	14億5千465万円
支出	13億1千77万円
資本的収入および支出	
収入	16億632万円
支出	20億1千169万円

※資本的支出に対する資本的収入の不足分は過年度分損益勘定留保資金等で補てん。

討論

一般会計歳入歳出決算に対する反対および賛成の討論を5名が行いました。討論者が要約し、概要をお知らせします。

反対討論

日本共産党吉川市議員団 佐藤 清治

平成23年度一般会計決算の実質収支は11億284万8千円の黒字となり、単年度収支も2億2千387万1千円の黒字となっております。使い残しである不用額は6億5千698万7千701円、予算計上しなかったものも2億3千万円です。

認定に反対する第1の理由は当初予算編成にあたって適正に予算計上されていない事。第2の理由は議案質疑の中でも「11億円の繰越額は過大である」と答弁があったように不用額は減額補正し、これらの財源で市民要望に積極的に応えるべきでしたが実施しなかった事。

景気後退の中、平成20年度

に比べ所得金額は一人あたり18万円減少しています。

こんな時こそ市民生活をしっかりと応援することが求められています。ところが市長は平成18年度に実施した事業予算の1割カットについて「復活するつもりはない」と答弁、こうした市長の政治姿勢は大きな問題があります。



反対討論

無所属

齋藤 詔治

歳入・決算額は12億5千686万9千円の黒字でした。繰越財源を差し引いた実質収支は11億円有余の黒字、収入済額も前年より6億9千544万円増加、歳出は支出済額が前年度より5億1千946万2千円増

加、不用額は6億5千698万8千円で前年同様でした。多くの事業も実施されましたが、市は行財政改革を進めており、この決算内容を見ますと、もともと積極的に市民要望が満たされて良かったのではないかと、特に身近な生活環境整備には、補正等で要望解決に積極的に取り組むべきでした。行政執行の一部に関し、市民より見方によっては行政の不作為（当然すべきことを積極的に行わない）と指摘される一面もあり、来年度予算は、市民要望解決に積極的な編成を要望します。又、監査委員報告に見られる吉川市の建設工事入札に、幾つかの疑義があり、明快な検討調査が進んでないこと等により、反対討論と致します。

賛成討論

公明党吉川市議団

互 金次郎

平成23年度決算は前年度比で約5億1千900万円の歳出増。歳入では約6億9千500万円の増でした。

特に注目する事業展開は、

子ども医療費通院分の支給対象を中学生まで拡大。本年4月に開設された2つの民間保育所への建設費補助。市内民間保育所への看護師配置支援。子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌ワクチンの公費接種事業。吉川美南駅の東口広場、暫定駐車場と駐輪場及びアクセス道路整備等の市単独事業。美南地区の拠点機能を備える美南小学校の建設事業の推進。災害備蓄物資の増強と「安全・安心メールサービス」導入。放射性物質の除染事業と放射線量計の貸出、給食食材の放射性物質検査の実施。

以上の積極的な施策展開を評価し賛成討論とします。

賛成討論

自民・みらい

松崎 誠

平成23年度は、東日本大震災への緊急的な対応について、臨時議会により補正予算を編成し、市民の安全安心を最優先に考えた対応と評価できます。また、吉川美南駅や美南小学校の建設費用など、多額の財源を必要とする大規模な建設事業を実施しながらも、実質収支は黒字を計上し、さらに、実質公債費比率、将来負担比率など財政健全化指標に示された数値も良好であり、総じて財政運営の健全さが認められる決算となっております。

平成24年度は、第5次吉川市総合振興計画の初年度という節目の年であり、吉川美南駅周辺地域の開発、市庁舎建設の推進など、新たなステージへの一步を象徴する事業も進められ、一層の安定した財政運営が求められます。限りある財源を最大限活用し、市長が目指す「住みよき日本」のまちづくりを進めていただくことを願います。

賛成討論

市民改革クラブ

稲垣 茂行

昨年の3月11日に発生した東日本大震災と津波、そして福島原子力発電所事故は、多くの生命と平穏な生活、仕事、地域や町そのものまでを奪い、悲しみと不安をもたらしました。私たちは改めて、自然災害の恐ろしさと備えの重要性を実感するとともに、原発の危険性と事故の計り知れない影響の大きさを思い知らされる事となりました。

こうした中、学校の耐震化、児童保育の拡充、保育所の待機児童解消、新駅開業に向けた整備が進み、放射線対策も迅速・柔軟に対応し、市民の不安に応えました。

今後、防災対策をはじめ、少子高齢化・保健衛生・環境対策等の課題解決へ向け、迅速かつ実効性ある取組を推進されることを期待します。「フロリダーション」推進については、直ちに市の関与を止めることを求め、23年度決算に同意し、賛成の討論と致します。



吉川美南駅開業式典や内覧会に多くの人が参加

常任委員会の審査から

9月7日、10日に総務水道、文教福祉、9月11日、12日に建設生活の議案審査が行われました。常任委員会での主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

総務・水道

◆一般会計歳入歳出決算の認定
広報よしかわの編集方針に変更はあるのか、市民の反応は。

編集方針に変更はないが、広報紙よりスピーディに情報が取得できるホームページに市民の目が向いていると感じている。

路線バス事業者に毎年要望していると考えるが、今年のような要望内容は。

今年、夜間や便数の増便などの要望を行った。

市民意識調査で、3・11の大震災後の市民意識に変化があったのか。

住みよさに関する質問で、「住みよい」という回答が8割以上あり、その理由として「災害が少ない」が多かったことから、災害の影響が大きかったと考えている。

定期監査報告書で指摘された入札制度はどのように改善されたのか。

一般競争入札を実施する建設工事の対象額を5千万円超から3千万円超に拡大した。

また、建設工事の一般及び指名競争入札において変動型最低制限価格制度を導入した。

歳出の不用額が多く、繰越金も11億円となっている。財政課はどのように取り組んだのか。

年度中に不用額が見込めるものについては補正予算に計上するよう指示している。今後も予算の減額が可能なものについては補正予算に計上していきたい。

たばこ税が増収となっているが、その要因は。

前年度と比較して約5千400万円の増収となっており、その要因は消費本数は減っているが、平成22年10月に40%の大幅増税されたためである。

賛成全員で認定

◆水道事業会計利益の処分及び決算の認定

水を供給するために要する費用に比べ、給水単価が低い、いわゆる逆ざやはいつからで、原因は何か。改善策は。

逆ざやは平成4年からで、原因は設備投資である。分担金の収入が無くなれば、いず

これは料金の値上げを考えていかなければならない。

賛成全員で可決及び認定

◆一般会計補正予算

備品購入費の内容は。

市庁舎に最低限の安全対策として2階屋上などに3台の避難はしごを設置、非常階段等整備するものである。

バス乗り場案内の設置場所はどこか。発着場所やコースなどわかりやすい表記を求める。

吉川駅の北口と南口に設置してある既存の街路案内板を利用して、バス事業者と行先コースなど番号を付して分かりやすい表記に努めたい。

賛成全員で可決



吉川駅前に待望のバス案内板が設置される

文教・福祉

◆一般会計歳入歳出決算の認定

災害時要援護者避難支援について個別計画の登録者数と今後の課題は。

登録者3千人を目指し、民生委員の協力を得て進めてきたが目標に届いていない。市が対象者とした者であっても、本人が不要であると考えられる場合も多いので、一層の周知が必要と感じている。

時間外保育事業の利用者数と、一時保育利用者数は。

時間外保育利用者数は、2ヶ所で75名である。一時保育利用者数は延べ1000名程である。入所待ちの多くは0歳児から2歳児であり、3歳児くらいからは入所できる状況。

求職中を理由とした保育所の申し込み件数は。

4月1日現在10名であり、これらの方については個々に相談に応じながら一時保育等を活用いただいている。



時間外保育や一時保育の需要が高まっている

◆国民健康保険特別会計決算
収納率が低いことで、国の
調整交付金が減額されるなど
の影響はあるか。

埼玉県において広域化等支
援方針を策定しており、影響
はない。

所得が無い場合も国保税が
課税されるが、納税できると
認識しているのか。

国保税は7割、5割、2割
の法定軽減の他、一部負担金
減免制度もあり、それらの利
用を促している。所得が無い
方にとって納税は厳しいとは
思うが、平成24年度の税制改
正により低所得世帯の負担軽
減を図ったところである。

賛成多数で認定

保健指導の積極的支援、動
機づけ支援の内容と効果は。
腹囲が男性85cm以上、女性
90cm以上で、高血糖、高血圧、
脂質異常、喫煙の4つのうち、
1つに該当する場合は動機づ
け支援、2つに該当する場合
は積極的支援となる。全体と
しての効果を数値で表すのは
難しいが、保健師、栄養士が
特定健診の後に個別で保健指
導を行っている。
市として特徴的な疾病は。
高血圧、高血糖、肥満の割
合が高く、市として取り組む
べき課題である。

賛成多数で認定



建設・生活

◆市道の路線認定及び廃止に
ついて

廃止箇所の払い下げの価格
はどう決めるのか。
土地の鑑定評価額及び、県
の買収価格を参考にする。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算

美南駅自転車駐車場整備後
は、何台利用できるのか。

鉄道運輸機構の整備によ
り、80台増え、432台を見
込んでいる。一時利用は余剰
地を使い100台利用の計画
である。

賛成多数で可決



無料のため多くの人が利用している

◆一般会計歳入歳出決算の認定
停止線、横断歩道の塗装補
修は県で対応だが、緊急の場
合は市で補修できないか。

県公安委員会の対応だが、
役割分担を明確にして柔軟に
対応し、警察と協議していく。

土地改良施設維持管理適正
化事業の下八間水路整備につ
いて、残り区間と工事費負担
割合は。

水路の全長は、5千170
mだが、多くの未整備箇所
がある。負担は国、県、市
が各30%、残り10%が地元
分である。

吉川駅東の隧道の排水を改
善する対策は。
貯留施設を含めた治水対策

文教福祉常任委員会、
行政視察を行いました

◆市内全小・中学校
(7月9日・13日)

通学路の安全対策、学校
の防災対策、児童生徒の学
校生活などについて視察し
ました。

◆埼玉県和光市(8月1日)
介護予防への先進的な取り
組みについて視察しました。

の事業化を検討していく。
平沼周辺地区まちづくり
について、地域ではどのよう
なことが行われているか。現
在の吉川橋周辺の用途は。

アンケート調査をし、平沼
東部地域に地区計画の導入を
検討している。用途は、近隣
商業地域。

自主防災組織が資機材購入
助成金の限度額を消化した時
の対応と備蓄物資を各々で進
めているが、市で調整しては。
自主防災組織の話を聞き検
討したい。内容、数は個々に
適切なアドバイスをしていく。

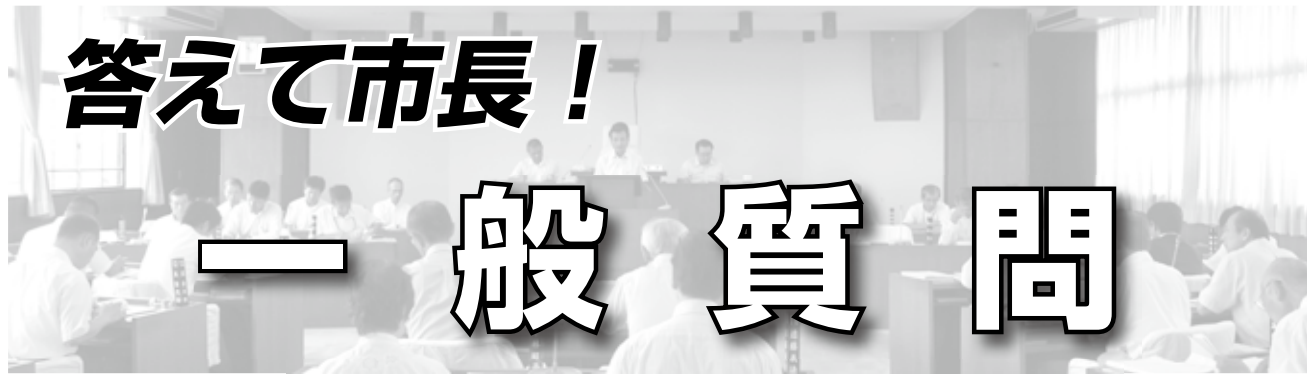
賛成多数で認定



栄小学校図書室

答えて市長！

一般質問



一般質問は、9月19日から21日の3日間にわたりに行われました。

質問・答弁ともに質問者が要約しています。詳細な内容は会議録をご覧ください。

会議録はホームページや市立図書館等で閲覧できますが、9月定例会の会議録の提供は、12月上旬となります。

いじめ防止対策について

中嶋 通治

問 いじめの現状と取り組みについて。

答 教育長 平成24年度1学期に於いて小学校で2件、中学校で9件で全て解消している。問 地域や警察との連携について。

答 教育長 実際に暴力行為があった場合には保護者に被害届の提出の意思を確認し、警察等関係機関と連携をして指導する。

問 学校における障がい者に対するいじめの実態について。答 教育長 報告は受けていない。

い。問題がないよう指導助言をしている。

◆虐待防止について

問 児童に対する虐待相談件数と対応取り組みについて。

答 市長 子供を始め、高齢者等社会的弱者である人々に地域の方々の協力を得て取り組んでいく。

答 健康福祉部長 虐待相談件数は81件であり、「要保護児童対策地域協議会」を活用する。

問 高齢者に対する虐待相談件数と対応について。

答 健康福祉部長 8件の相談があり、状況を見極め介護保険サービスや成年後見制度を活用する。

吉川美南駅周辺など今後の吉川市のまちづくりについて

中村 喜一

問 駅周辺地区の整備は。

答 市長 第5次総合振興計画に基づき、吉川美南駅を中心に、各種都市機能を備えた、複合新拠点として市街地の形成をはかる。

問 東部・北部地域の活性化と地域インフラ整備は。

答 市長 水辺空間と緑豊かな地域となっている反面、地域インフラは道路が狭く未舗装道路も多い。他地域とのバランスを考慮しながら、幹線道路や生活道路、水路等に重点を置き整備を計画的に進める。

問 産業まちづくり地域に行政施策が必要と思うが。

答 市長 三輪野江と須賀・榎戸地区は、過去に土地区画整理事業が合意形成に至らなかった経緯がある。今後の開発は、行政がビジョンを示し、地域の合意形成や諸条件の整理が欠かせない。今後、地域住民の意向や社会経済情勢を勘案し慎重に対応を検討する。

問 農業集落排水のあり方は。

答 市長 農村集落を対象とした下水道事業だが、合併処理浄化槽が義務付けられたので、今後の整備は行わない方針。

通学路安全対策には迅速な対応と情報共有

降旗 聡

問 4月以降、市では教育委員会をはじめ関係部署が連携した「調整会議」を開き、協議を積み重ねてきました。さ

らには、学校や保護者、地域の協力を得ながら合同点検を行うなど、児童・生徒の登下校中の安全確保にむけて取り組んできました。以下2点について伺います。

①調整会議が果たした役割とその成果について。
②調整会議から対策委員会への移行について。

答 市長 ①学校や保護者をはじめ、バス・タクシートの事業者などから数多くの情報をいただいた。その情報を基に、関係職員により協議を行った結果、早期の対応が可能な箇所については速やかに改修を実施するとともに、補正予算を計上するなど迅速に対応ができた。

②対策委員会への移行については考えていないが、各学校やPTA、地域や警察など関係機関と連携を密にし、迅速な対応と情報の共有化を図りながら、引き続き子どもたちの安全確保に努めていく。



当市におけるパスポート申請・
交付業務の実施で利便性向上を

互 金次郎

問 近年、グローバル化が進みビジネス、観光、留学等海外渡航は大変身近になりました。県では、住民サービスの向上の観点から、旅券事務に係る権限移譲を進めています。

越谷・草加市等は平成19年4月から旅券事務が実施され、本年4月から八潮市でも開始されました。

昨年春の春日部支所における吉川市民のパスポート申請件数は、1367件でした。

当市でも市民の利便性向上のため、パスポートの申請・交付業務の実施を検討すべきと考えますが。

答市長 市民の利便性の向上につながると思えますので、平成25年度の早い時期に旅券事務の移譲を受けることができると準備を進めます。

◆エリアメール導入で緊急情報等の迅速な配信を

問 エリアメールは電源さえ入っていれば事前登録の必要はなく自動的に受信します。

費用対効果も高く、緊急情報の迅速な配信のため導入に踏み切るべきと考えますが。

答市長 平成24年度内の導入に向け準備を進めています。



来年度中には市内でのパスポート取得が可能に

人と犬・猫が共生した
吉川市を目指して

五十嵐 恵千子

問 ①ドッグランの設置は、利用者が中心となり運営・活動をする団体の協力が必要と

ご答弁をいただいています。が、市内で積極的な活動を行っているNPOからドッグラン設置・運営の要望を頂いています。ご見解を。②埼玉県

では、今年度から野良猫を減らすために、市と連携して野良猫対策に取り組む団体に活動費を補助します。市に長年貢献いただいているNPOと連携し「地域猫活動」実施へ

支援を。③平成23年6月議会一般質問で「災害時の動物愛護」について質問しましたが、進捗状況は。

答都市建設部長 ①NPOが立ち上がり、気運も高まっている様ですので、先ずはNPO・道路公園課・環境課で話し合います。

答市民生活部長 ②県の補助金活用を含め、市内動物愛護団体や県と協議し、出来れば今年度中から実施したいと思っています。③現在、見直し中の

地域防災計画の中に災害時の動物救護対策を盛り込むことを検討しています。

◆子ども行政一元化、子ども
若者総合サポートシステム構築を

答市長 総合的に子育てを支援する上で大変有効だが、課題もあり、提案の事例等も含め研究します。

メガソーラーの誘致
導入を

小野 潔

問 政府では2030年代に自然再生可能エネルギーの占

める比率を約30%と定めました。上田埼玉県知事も「二区画、一自治体で導入したい」と述べています。そこで三輪

野江の白地地域120haへメガソーラーシステムの誘致及び導入事業を実施しては。

答市長 メガソーラーは先進地の事例を参考に研究する。

◆いじめ防止対策強化を

問 絶対にいじめによる自殺者を出さないために①「喧嘩であつた」とだけ対応するのではなく潜在的と認識すべきで

は。②全教職員へ研修の実施を。③保護者へ「家庭用いじめ発見チェックシート」の配布を。

答教育長・教育部長 ①聞取りの中でしっかり分析した

い。②各校の実情に合わせて実施していく。③配布するよう指示していく。

◆334号線・武蔵野線ガード前歩道橋美南一丁目地域の歩道から歩道橋への補助階段設置と信号機の設置を。

答都市建設部長 信号機は難しいが、補助階段は県と協議する。

スポーツ振興に関して

稲葉 剛治

◆スポーツ施設の改修について 問 設備の改修を部分的な改修という視点ではなく、設備全体を考えた視点で改修を行なうのはどうか。

答教育部長 定期的で大規模な修繕が必要になってくると考えるので、点検の状況を見ながら、検討していく。

問 スポーツ施設の管理を指定管理者制度に移行するとう事は考えているか。また、移行する際には、行政と指定管理者が連携をとれる形で行を進めて頂きたい。

答教育部長 指定管理者制度については、平成26年頃を目安に移行する事を考えている。移行の際には、指定管理者と連携をとる事をふまえながら検討していく。

◆スポーツ団体の支援について

問 今後、全国から集まってくるような大会、催し物を企画する事は考えているか。答教育部長 現在の所、全国的なレベルでのイベント開催の計画はない。

市の「公共調達」について

稲垣 茂行

(問) 公共調達に対する市の基本的考え方は。

(答)総務部長 現行法令を順守し、適切な積算と価格で発注することで、工事等の品質を確保することが必要と考える。

(問) 公平・公正な入札・契約制度をどう確保しているか。

(答)総務部長 談合の予防、排除については、電子入札制度を導入するとともに、平成24年4月より一般競争入札対象工事を5千万円から3千万円へ拡大した。また、不適正な積算の予防は、事業者に積算価格の根拠となる内訳書の提出を求めている。さらに、平成23年度からは予定価格を事前公表から事後公表に改め、事業者が最低制限価格を類推することが困難となり、積算の妥当性向上に繋がっている。

(問) 品質確保は。

(答)総務部長 国・県の積算基準書や単価で積算し、今年度から、変動型最低制限価格制度を導入した。

(問) 市公共調達条例の制定は。

(答)総務部長 調査研究する。

(問) 人材の育成が必要では。

(答)市長 日本一のまちづくりのため、職員の研修と採用を通じ、質の向上を図っている。

イヌとヒトが笑顔で共存できる吉川市に

安田 真也

(問) 狂犬病予防接種の接種率についての見解と、接種率向上に向けた取り組みは。

(答)市民生活部長 過去5年間の当市の接種率は69・4%であり、接種率向上に向けた取り組みは必要と考えている。集合注射会場の設定時には、駐車場の広い市役所及びおしすを必ず土曜日に設定、今年度からは新たに美南中央公園を加え、会場を15ヶ所とし接種機会の拡充を図った。この他、ハガキによる通知とともに、広報よしかわや市HPにおける啓発を行っている。

(問) 他市では、市HPにおいて、予防接種の出来る動物病院一覧を掲載している事例もある。更なる向上にはそのような手段も必要。市として、HPに動物病院一覧の掲載を

してはどうか。

(答)市民生活部長 今後、獣医師会や狂犬病予防協会と相談し、掲載が可能か検討したい。

(問) 鑑札や注射済票をデザイン性のあるものにできないか。

(答)市民生活部長 今後変更の機会があった場合、鑑札・注射済票合わせて一緒に検討していきたい。

生活道路・水路の改修要望の早期実施をすすめよ

小林 昭子

(問) 川端「新きぼり」改修は。

(答)市民生活部長 掘削による成型や危険箇所を補修を進めるため、9月補正で委託料、工事請負費を計上した。委託料は水路断面を決定し、計画的に整備を進める為の調査が主な内容で、工事請負費は新きぼりの土留め工事を1000m進める予定である。

(問) 江戸川堤下の市道改修は。

(答)都市建設部長 三輪野江常磐道付近、三輪野江2190番地付近を補修する。

(問) 土場369―2地先く三輪野江バイパスまでの市道改修は。

(答)都市建設部長 すでに補修を済ませており、全面補修は今後劣化状況を踏まえ改修。

(問) 三輪野江189地先市道改修は。

(答)都市建設部長 9月補正で計上。3月までに補修する。

(問) 加藤16地先、275―2地先の市道改修は。

(答)都市建設部長 地域のバランス、劣化状況を見る。

(問) 大字富新田22―15、30―1北側水路改修を。

(答)市民生活部長 土水路でも利用できる水路は多くあり、地域と調整し対応する。

災害から市民の生命と財産を守るための取り組みを

遠藤 義法

(問) 東日本大震災の教訓をどう市の地域防災に活かすのか。

①東日本大震災からの課題は。②避難場所へ向かう途中のブロック塀倒壊箇所、危険物施設の把握と住民への情報提供は。③阪神淡路大震災からの教訓は、一般住宅の耐震化を

すすめることであり、対応は。家具転倒防止金具設置の実施は。④災害時に要支援者を手

助け、救助する計画は。

(答)市長 帰宅困難者や広域災害などから避難者の受け入れなどの対応が必要で平成24年度中の見直しをしている。

(答)市民生活部長 避難経路を把握しすすめている。ブロックの危険箇所の把握はこれからで、危険物施設は消防署と連絡をとりすすめていく。

介護認定者や障がい者など約1万人の対象者の中で2千796人の方に登録していただいている。支援計画は自主防災組織や民生委員と協力しながら今後もすすめていく。

(答)都市建設部長 ②については住宅の耐震化率90%を目標に、密集している旧平沼地区、栄町・保地域の耐震化をすすめるため、地区計画で位置付けしながらすすめていく。



地震や洪水の災害に関する情報をまとめた「吉川市防災マップ」

生活困窮世帯の子どもたちへの進学や学力の支援を

高野 昇

(問) 生活保護世帯の子ども達などに無償で学習を支援し、高校進学や学力を保障する埼玉県の教育支援員事業が大きな成果を上げている。吉川市もこの事業を活用し支援を。

(答)教育長 県の教育支援事業は近隣では、春日部、越谷、三郷、久喜に教室が開設されており、当市から、越谷教室と三郷教室に生徒が通学しています。今後この事業の進展を注視してゆきます。

◆人間ドックへの補助制度を

(問) 現在県内では50自治体が補助制度を実施しており、特定健診受診率の向上にもつなげている。当市でも実施を。

(答)健康福祉部長 人間ドックの検診を受けて受診率を上げ特定保健指導してゆけば、医療費の削減につながります。

最近では企業でも人間ドックを受けているので、今後国保の中で人間ドックの受診率が高くなれば、補助制度の実施も検討します。

◆請願採択の通学路の整備を
(問) 当該市道の整備を早急に。
(答)都市建設部長 自治会と協議し対応してゆきます。



餓死、孤独死をなくす対策は

佐藤 清治

(問) 今年に入り全国で餓死、孤独死が報道されています。

これらの事件に共通する問題は、日本の貧困率の高さです。OECDの基準以下で暮らす人の率が16%に達し、年々拡大、貧困が社会のすみずみまで深く進行しています。こういう状況を踏まえ市として対策は。

(答)市長 孤独死は当市でも報告を受けています。吉川市要援護者見守りネットワークを組織し、郵便物が溜まって

る場合には当市に通報していただき迅速に対応していただきます。民生児童委員に情報を提供し定期的に訪問していただき高齢者の相談に応じながら安否状況を確認しています。

(問) 現在生活保護に対するパッシングが繰り返られていますが、生活保護法を厳しくしていけば生活困窮者はますます追いつめられていくと考えられますが、その対応は。

(答)市長 一部マスコミによる報道の件については、生活保護制度の世帯単位の原則により手続き等は適切に行われていたと考えられます。見直しについては動向を見守ってまいります。

「新庁舎」建設の資金捻出は

伊藤 正勝

(問) 市は庁舎建設検討委員会の報告を受けて、28年竣工を目標に準備に入ることを決定した。費用捻出、施策への影響、負担について伺いたい。

(答)市長 地震等災害対応とともに老朽化し、手狭でもあり決断した。建設費用は30億2

千600万円程を見込んでおり、積立金を除くと20年返済で利子含め年1億円強の負担となる。全体に目を配りしわ寄せが出ないよう努める。現庁舎の用地等は売却の方針だ。

(答)総務部長 26年度まで3億円ずつ積み増す計画。その場合の返済額は年6千700万円程度となる。

(問) 吉川中央総合病院で増築工事が進む。2倍の規模とされるが、診療科目や整備の内容について多くの市民が関心を寄せ、期待している。市内唯一の総合病院であり、救急センターでもある。医療圏やベッド数の関係から病院新設は出来ない状況。もっと日常的に交流、情報交換し、相互の信頼と愛着が深まるように努めてもらいたい。

(答)健康福祉部長 民間の病院であり、お答え出来ないということであった。

現庁舎の耐震補強工事を早急に実施したうえで新庁舎建設を

齋藤 詔治

(問) 現市庁舎は、耐震一次診断結果でIS値が0.21<0.3

です。判定基準の0.8を大きく下回り、大地震の際には倒壊し、崩壊する危険な建物と市長は認め、平成28年度中の新庁舎移転に向け急ぎ、検討委員会を本年2月に設置し、8月3日に報告書が提出されました。本来市長は、耐震一次診断後、即、耐震二次診断を行い、結果によっては、早急に耐震補強工事を実施すべきです。危険な現庁舎の状態業務を続ける事は、職員を始め、来庁者等の生命と財産は守れず、行政責任は重大です。新庁舎建設は、もっと大きな視点に立ち、市全体が直面している多くの行政課題の解決へ結びつく事業にすべきです。庁舎建設に反対ではないが、先に現庁舎の耐震補強工事を行い、新庁舎延べ面積8千200㎡を半分以下に縮小し、三階建を平屋建等にし、事業費の大幅削減を行うべきです。

(答)市長 耐震補強工事等は無駄になると考えます。

(答)総務部長 実施しても一次診断と変わらないため、耐震二次診断は行いません。

審 議 結 果

○ = 賛成、× = 反対、* = 一部反対、△ = 一部退席

議案名	議決結果	自・み	共産	公明	改革	無所属
吉川市税条例及び吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	×	○	○	○
郵政民営化法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○
吉川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○
市道の路線認定及び廃止について	原案可決	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	同 意	同 意				
固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	同 意				
平成23年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	×	○	○	○*
平成23年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	×	○	○	○
平成23年度吉川市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	×	○	○	○
平成23年度吉川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	×	○	○	○
平成24年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	×	○	○	○
平成24年度吉川市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○
全国一律最低賃金・時給1,000円以上の実現を求める意見書	否 決	×	◎	×	○	○*
大飯原子力発電所3,4号機の再稼働中止を求める意見書	原案可決	×	◎	○	○*	○*
吉川市内における県道の交差点改良と北部延伸を求める意見書	原案可決	◎	○	○	○	○
緊急事態基本法の早期制定を求める意見書	原案可決	◎	×	○	○△	○*
「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書	原案可決	○	○	◎	○	○
埼玉県立大学に医学部の新設を認めることを求める意見書	原案可決	◎	○	○	○	○

自・み = 自民・みらい、共産 = 日本共産党吉川市議員団、公明 = 公明党吉川市議団
 改革 = 市民改革クラブ、◎ = 意見書を提出した会派

表紙写真の説明



平成25年4月開校となる美南小学校の建設が進んでいます。現在、建物は3階部分まで建ち上がり、今後、外構工事や植栽等が進められます。市内8校目となる新たな小学校の完成が楽しみです。

～議会を傍聴しませんか～

12月定例会の予定

- 11月30日(金)
本会議(開会日・議案上程)
- 12月4日(火)
本会議(議案審議)
- 12月5日(水)
委員会(議案審査)
- 12月6日(木)
委員会(議案審査)
- 12月7日(金)
委員会(請願審査)
- 12月11日(火)
本会議(委員長報告)
- 12月12日(水)
本会議(一般質問)
- 12月13日(木)
本会議(一般質問)
- 12月14日(金)
本会議(一般質問・閉会日)

編 集 後 記

議会だよりをお読みいただきありがとうございます。9月議会では平成23年度の決算の審議も行なわれ議会だよりの中身も盛りだくさんで、数字も多いかもしれません。市民のみなさまに少しでもわかりやすい広報となる様、毎回議会ごとに3回の広報委員会を開き紙面作りに取り組んでいます。今議会の議員一般質問は15名でした。議員から国への意見書提案は6本でした。関心のある内容が取り上げられていたでしょうか。気持ちがひきしまる所です。

議会がはじまる頃はアブラゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシゼミと、セミの協奏曲が圧巻でしたが、9月議会中は、ツクツクボウシが夏をしめくくる様に鳴いていました。自然豊かな吉川の街でセミの声を堪能できるよろこびを一筆添えます。

小林 昭子

- 発行 吉川市議会(平成24年11月1日)
- 編集 吉川市議会広報委員会 〒342-8501 埼玉県吉川市吉川二丁目1番地1
- ホームページアドレス <http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>
- TEL&FAX 048-982-9421
- 「よしかわ議会だより」のテブ版は、朗読サークル「きんもくせい」の協力で作成しています。